



## CIMC セッション管理

この章の内容は、次のとおりです。

- [CIMC セッション管理の概要, 1 ページ](#)

### CIMC セッション管理の概要

Cisco UCS Manager 内の KVM、vMedia、および SoL セッションを表示および終了できます。管理者権限を持つユーザは、任意のユーザの KVM、vMedia、および SoL セッションを切断できます。Cisco Integrated Management Controller (CIMC) により、セッション情報が Cisco UCS Manager に提供されます。Cisco UCS Manager は CIMC からイベントを取得すると、そのセッションテーブルを更新し、すべてのユーザに情報を表示します。

セッション情報は次の情報で構成されます。

- 名前：セッションを開始したユーザの名前。
- セッション ID：セッションに関連付けられた ID。ブレードのセッション ID の形式は [unique identifier]\_[chassis id]\_[Blade id] です。ラックのセッション ID の形式は [unique identifier]\_0\_[Rack id] です。
- セッションタイプ：KVM、vMedia、または SoL。
- ユーザの権限レベル：読み取り/書き込み、読み取り専用、または付与。
- 管理状態：アクティブまたは非アクティブ。値は、セッションがアクティブの場合はアクティブです。値は、セッション終了コマンドが発行されたが、セッションが終了していない場合は非アクティブとなります。この状況は、サーバの FSM が別の操作で進行中である場合、または CIMC への接続が失われた場合に発生します。
- 送信元アドレス：セッションが開かれたコンピュータの IP アドレス。
- サービスプロファイル：セッションに関連付けられたサービスプロファイル。CIMC セッションのサービスプロファイルの属性値は、セッションがサービスプロファイルから提供された IP アドレスで開くときにだけ表示されます。
- サーバ：セッションに関連付けられたサーバの名前。

- ログイン時刻：セッションが開始された日時。
- 最終更新時刻：セッション情報が CIMC により更新された最終時刻。

新しいセッションは通常、ユーザが KVM、vMedia、または SOL に接続するときに追加されます。Pnuos vMedia セッションは、ユーザ名 `_vmediausr_` を用いたサーバ検出時にセッションテーブルに表示されます。

CIMC セッション データは Cisco UCS Manager GUI の [CIMC セッション (CIMC Sessions) ] タブで使用できます。ユーザによって終了された CIMC セッションは、適切な詳細とともにログに記録された監査です。



- (注) このガイドに記載されている GUI および CLI タスクを実行するには、2.1(2a) 以上の CIMC イメージバージョンがブレードサーバのセッション管理サポートに必要です。1.5(11) 以上の最新の CIMC イメージバージョンが、ラックサーバに必要です。

## ローカル ユーザにより開かれた CIMC セッションの表示

ローカルユーザにより開かれたすべての CIMC セッションまたは特定のローカルユーザにより開かれた CIMC セッションを表示するには、このタスクを実行します。



- (注) 特定のサーバまたはサービス プロファイル オプションの CIMC セッションの表示は CLI ありません。これは、GUI で使用できます。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # <b>scope security</b>	セキュリティ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # <b>show cimc-sessions local</b>	ローカル ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションを表示します。
ステップ 3	UCS-A /security # <b>show cimc-sessions local user-name</b>	特定のローカル ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションを表示します。

次に、以下を表示する例を示します。

- ローカル ユーザにより開かれたすべての CIMC セッション
- 特定のローカル ユーザにより開かれた CIMC セッション

- 特定のローカル ユーザにより開かれた CIMC セッションの詳細

**All sessions opened by local users:**

```
UCS-A # scope security
UCS-A /security # show cimc-sessions local
```

Session ID	Type	User	Source Addr	Admin State
42_1_1	Kvm	admin	10.106.22.117	Active
4_1_5	Kvm	admin	10.106.22.117	Active
5_1_5	Vmedia	admin	10.106.22.117	Active

**Session opened by a specific local user:**

```
UCS-A /security # show cimc-sessions local admin
```

Session ID	Type	User	Source Addr	Admin State
42_1_1	Kvm	admin	10.106.22.117	Active

**Details of session opened by a specific local user:**

```
UCS-A /security # show cimc-sessions local admin detail
Session ID 42_1_1
Type: Kvm
User: admin
Source Addr: 10.106.22.117
Login Time: 2013-06-28T06:09:53.000
Last Updated Time: 2013-06-28T06:21:52.000
Admin State: Active
Priv: RW
Server: sys/chassis-1/blade-1
Service Profile:
```

## リモート ユーザにより開かれた CIMC セッションの表示

リモート ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションまたは特定のリモート ユーザにより開かれた CIMC セッションを表示するには、このタスクを実行します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # <b>scope security</b>	セキュリティ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # <b>show cimc-sessions remote</b>	リモート ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションを表示します。
ステップ 3	UCS-A /security # <b>show cimc-sessions remote user-name</b>	特定のリモート ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションを表示します。

次に、以下を表示する例を示します。

- リモート ユーザにより開かれたすべての CIMC セッション
- 特定のリモート ユーザにより開かれた CIMC セッション

- 特定のリモートユーザにより開かれた CIMC セッションの詳細

**All sessions opened by remote users:**

```
UCS-A # scope security
UCS-A /security # show cimc-sessions remote
```

Session ID	Type	User	Source Addr	Admin State
43_1_1	Kvm	administrator	10.106.22.117	Active
6_1_5	Kvm	test-remote	10.106.22.117	Active
7_1_5	Vmedia	test-remote	10.106.22.117	Active

**Session opened by a specific remote user:**

```
UCS-A /security # show cimc-sessions remote administrator
```

Session ID	Type	User	Source Addr	Admin State
43_1_1	Kvm	administrator	10.106.22.117	Active

**Details of session opened by a specific remote user:**

```
UCS-A /security # show cimc-sessions remote administrator detail
```

```
Session ID 43_1_1
Type: Kvm
User: administrator
Source Addr: 10.106.22.117
Login Time: 2013-06-28T06:09:53.000
Last Updated Time: 2013-06-28T06:21:52.000
Admin State: Active
Priv: RW
Server: sys/chassis-1/blade-1
Service Profile:
```

## IPMI ユーザにより開かれた CIMC セッションの表示

IPMI ユーザにより開かれた CIMC セッションを表示するには、次の手順を完了します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # <b>scope org org-name</b>	ルート組織モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /org # <b>scope ipmi-access-profile profile-name</b>	IPMI アクセス プロファイル名を入力します。
ステップ 3	UCS-A /org/ipmi-access-profile # <b>scope ipmi-user user-name</b>	IPMI ユーザ名を入力します。
ステップ 4	UCS-A /org/ipmi-access-profile/ipmi-user # <b>show cimc-sessions</b>	指定された IPMI ユーザによって開かれたすべての CIMC セッションを表示します。

次の例では、IPMI ユーザにより開かれたすべての CIMC セッションを表示する方法を示します。

```
UCS-A # scope org Finance
UCS-A /org* # scope ipmi-access-profile ReadOnly
UCS-A /org/ipmi-access-profile* # scope ipmi-user alice
```

```
UCS-A /org/ipmi-access-profile/ipmi-user # show cimc-sessions
-----
Session ID      Type      User      Source Addr      Admin State
-----
45_1_1         sol      alice     10.106.22.117   Active
```

## サーバの CIMC セッションのクリア

このタスクでは、サーバで開かれたすべての CIMC セッションをクリアする方法を示します。セッションタイプとユーザ名に基づいて、サーバの CIMC セッションをクリアすることもできます。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # <b>scope security</b>	セキュリティ コンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # <b>terminate cimc-sessions server chassis-id/blade-id</b>	シャーンの特定のブレードサーバの CIMC セッションをクリアします。
ステップ 3	UCS-A /security # <b>terminate cimc-sessions server Rack-server-id</b>	特定のラックサーバの CIMC セッションをクリアします。
ステップ 4	UCS-A /security # <b>terminate cimc-sessions server server-id type session-type</b>	サーバの特定のタイプの CIMC セッションをクリアします。
ステップ 5	UCS-A /security # <b>terminate cimc-sessions server server-id user-name user-name</b>	サーバの特定のユーザの CIMC セッションをクリアします。

最初の例では、サーバのすべての CIMC セッションをクリアする方法を示します。2 番目の例では、サーバの特定のタイプの CIMC セッションをクリアする方法を示します。3 番目の例では、サーバの特定のユーザの CIMC セッションをクリアする方法を示します。

```
UCS-A /security # scope security
UCS-A /security # terminate cimc-sessions server 2/1
This will close KVM sessions. Are you sure? (yes/no):yes
UCS-A /security

UCS-A # scope security
UCS-A /security # terminate cimc-sessions server 2/1 type kvm
This will close KVM sessions. Are you sure? (yes/no):yes

UCS-A # scope security
UCS-A /security # terminate cimc-sessions server 2/1 user-name test-user
This will close KVM sessions. Are you sure? (yes/no):yes
```

## ローカルユーザにより開かれたすべての CIMC セッションのクリア

このタスクでは、ローカルユーザにより開かれたセッションをクリアする方法を示します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # <b>scope security</b>	セキュリティコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # <b>terminate cimc-sessions local-user <i>user-name</i></b>	ローカルユーザにより開かれたすべての CIMC セッションをクリアします。
ステップ 3	UCS-A /security # <b>terminate cimc-sessions local-user <i>user-name</i> type {kvm   vmedia sol   all}</b>	ローカルユーザにより開かれた特定のセッションタイプのすべての CIMC セッションをクリアします。

次の例では、ローカルユーザにより開かれた CIMC セッションをクリアする方法を示します。

```
UCS-A /security# scope security
UCS-A /security# terminate cimc-sessions local-user testuser
This will close cimc sessions. Are you sure? (yes/no):yes
UCS-A /security#
```

## リモートユーザにより開かれたすべての CIMC セッションのクリア

このタスクでは、リモートユーザにより開かれた CIMC セッションをクリアする方法を示します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # <b>scope security</b>	セキュリティコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # <b>terminate cimc-sessions remote-user <i>user-name</i></b>	リモートユーザにより開かれたすべての CIMC セッションをクリアします。
ステップ 3	UCS-A /security # <b>terminate cimc-sessions remote-user <i>user-name</i> type {kvm   vmedia sol   all}</b>	リモートユーザにより開かれた特定のセッションタイプのすべての CIMC セッションをクリアします。

次の例では、リモートユーザにより開かれたすべての CIMC セッションをクリアする方法を示します。

```
UCS-A /security# scope security
UCS-A /security# terminate cimc-sessions remote-user testuser
This will close cimc sessions. Are you sure? (yes/no):yes
UCS-A /security#
```

## ローカル ユーザにより開かれた特定の CIMC セッションのクリア

このタスクでは、ローカルユーザによって開かれた特定の CIMC セッションをクリアする方法を示します。

### 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # <b>scope security</b>	セキュリティ コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # <b>scope local-user</b> <i>user-name</i>	ローカルユーザモードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /security/local user # <b>terminate cimc-session</b> <i>session-id</i>	選択した CIMC セッションをクリアします。
ステップ 4	UCS-A /security/local user* # <b>commit-buffer</b>	トランザクションをコミットします。

次の例では、ローカルユーザによって開かれた特定の CIMC セッションをクリアし、トランザクションをコミットする方法を示します。

```
UCS-A /security# scope security
UCS-A /security# scope local-user admin
UCS-A /security/local user # terminate cimc-session 6_1_2
UCS-A /security/local user*# commit-buffer
UCS-A /security/local user#
```

## リモート ユーザにより開かれた特定の CIMC セッションのクリア

このタスクでは、リモートユーザによって開かれた特定の CIMC セッションをクリアする方法を示します。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # <b>scope security</b>	セキュリティコンフィギュレーションモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /security # <b>scope remote -user</b> <i>user-name</i>	リモートユーザモードを開始します。
ステップ 3	UCS-A /security/remote user # <b>terminate cimc-session</b> <i>session-id</i>	選択した CIMC セッションをクリアします。
ステップ 4	UCS-A /security/remote user* # <b>commit-buffer</b>	トランザクションをコミットします。

次の例では、リモートユーザによって開かれた特定の CIMC セッションをクリアし、トランザクションをコミットする方法を示します。

```
UCS-A /security# scope security
UCS-A /security# scope remote-user admin
UCS-A /security/remote user # terminate cimc-session 6_1_3
UCS-A /security/remote user*# commit-buffer
UCS-A /security/remote user#
```

## IPMI ユーザにより開かれた CIMC セッションのクリア

IPMI ユーザにより開かれた CIMC セッションをクリアするには、次の手順を完了します。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A # <b>scope org</b> <i>org-name</i>	ルート組織モードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /org # <b>scope ipmi-access-profile</b> <i>profile-name</i>	IPMI アクセス プロファイル名を入力します。
ステップ 3	UCS-A /org/ipmi-access-profile # <b>scope ipmi-user</b> <i>user-name</i>	IPMI ユーザを入力します。
ステップ 4	UCS-A /org/ipmi-access-profile/ipmi-user # <b>terminate cimc-sessions</b> <i>session-id</i>	IPMI ユーザによって開かれた特定の CIMC セッションを終了します。
ステップ 5	UCS-A /org/ipmi-access-profile/ipmi-user * <b>commit-buffer</b>	変更をコミットします。

次の例では、IPMI ユーザによって開かれた特定の CIMC セッションをクリアし、変更をコミットする方法を示します。

```
UCS-A # scope org Finance
UCS-A /org* # scope ipmi-access-profile ReadOnly
UCS-A /org/ipmi-access-profile* # scope ipmi-user alice
UCS-A /org/ipmi-access-profile/ipmi-user # terminate cimc-sessions 5_1_2
UCS-A /org/ipmi-access-profile/ipmi-user* # commit-buffer
```

